

シンポジウム 子どもたちの命と生きる

—絵本で語る東日本大震災

2011年3月11日の東日本大震災津波により、東北地方太平洋沿岸部は甚大な被害を受けました。

このシンポジウムは、東日本大震災でお子さんを失った父母などに、それぞれ制作した絵本を紹介していただき、これまでの歩みを語りあうことを通じて、東日本大震災津波事故とご遺族の思いに触れます。

- ・日時 2024年3月23日(土) 13—16時
- ・会場 専修大学神田キャンパス7号館3階731教室(東京都千代田区神田神保町3-8)
- ・進行

第1部 絵本の紹介と込められた思い(13時—)

第2部 パネルディスカッション(15時—)

報告者・パネリスト(予定): 田村孝行・弘美(七十七銀行女川支店津波事故遺族)、大友さおり(名取市閑上地区津波事故遺族)、西城江津子・楓音(日和幼稚園津波事故遺族)、千葉直美(石巻市民)
コーディネーター: 飯考行(専修大学教授)

- ・参加方法

事前申込制(右のURL・QRコードより)、参加費無料

先着80名、申込期限:2024年3月21日

オンライン同時配信あり

(オンライン参加希望者には前日に参加方法をお伝えします)

- ・主催 専修大学法社会学研究室
- ・問い合わせ iit@isc.senshu-u.ac.jp(専修大学・飯)
- ・告知用ウェブページ <https://www.saibanhou.com/ehon.html>

参加申込用 URL・QR

<https://x.gd/CuaKS>



絵本『優しいあかりにつつまれて』



絵本『朝顔の声』



関連書『子どもたちの命と生きる』

* 田村孝行・弘美『不思議な光のしずく』、日和幼稚園遺族有志の会『二人の天使に会ったばく』も、近日発刊予定。